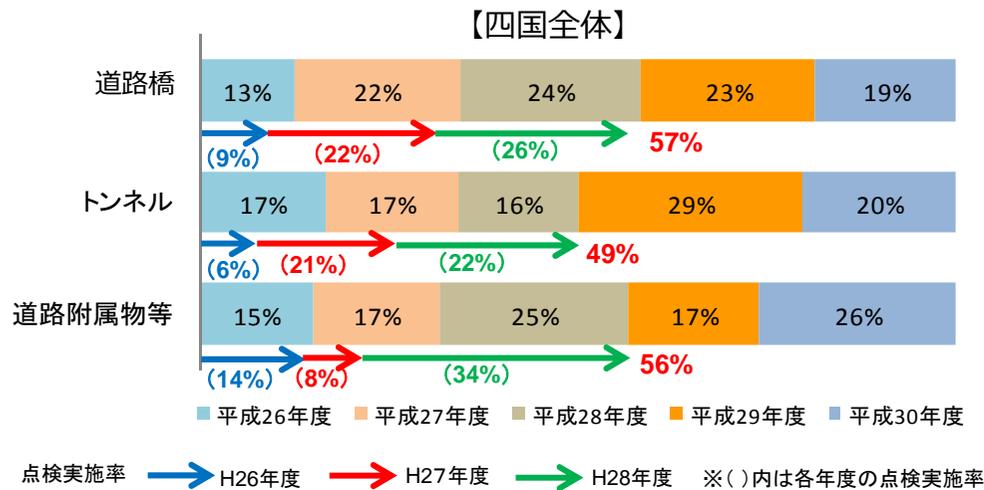


1) H28までの点検結果（点検計画と3箇年の実施状況） 四国地方整備局

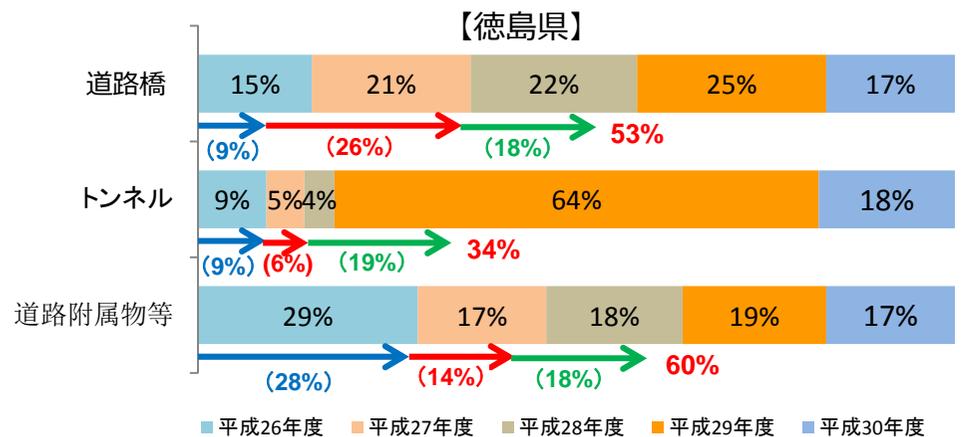
- H26.7の省令施行以来、道路管理者は全ての橋梁、トンネル等を対象に近接目視による点検計画を実施。
四国全体では平成28年度までの点検実施率は、橋梁約57%、トンネル約49%、道路附属物等約56%となっている。
- 徳島県においては、四国全体と比較するとトンネルの点検率が低く、平成28年度末で約34%となっている。

〈5年間の点検計画・累積点検実施率（全道路管理者合計）〉



〈平成28年度 点検実施数〉

道路施設	管理施設数	H28点検数	H28点検実施率
道路橋	47,566	12,336	26%
トンネル	1,004	224	22%
道路附属物等	1,853	639	34%



〈平成28年度 点検実施数〉

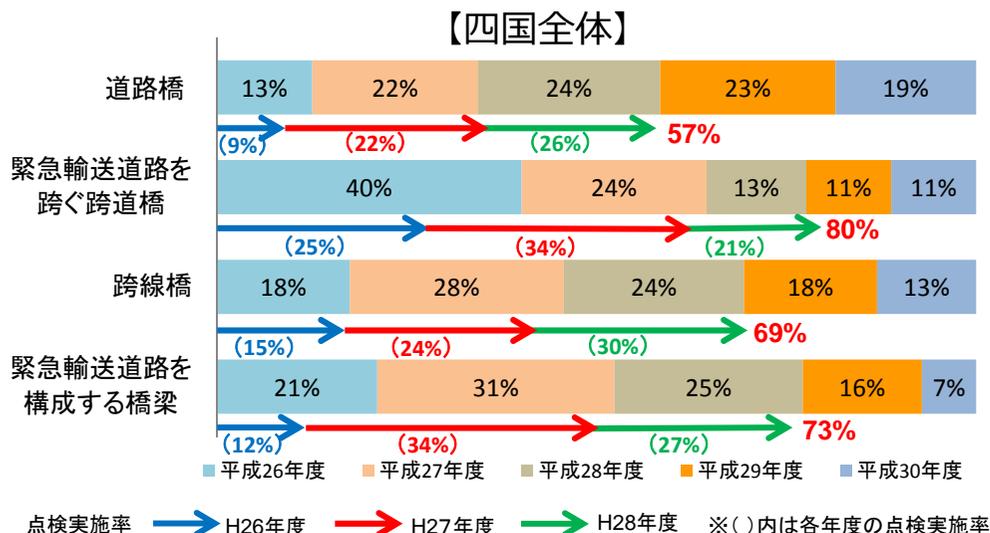
道路施設	管理施設数	H28点検数	H28点検実施率
道路橋	12,655	2,288	18%
トンネル	178	33	19%
道路附属物等	428	77	18%

※道路附属物等は、シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等
 ※平成29年6月末時点
 ※各年の数字と累計は四捨五入の関係で合わない場合がある

1) H28までの点検結果（最優先で点検すべき橋梁）

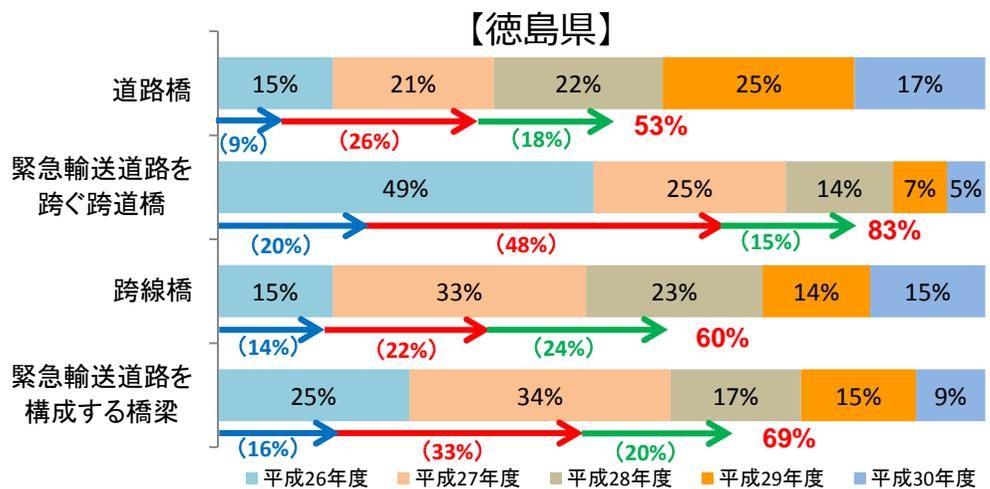
- 最優先で点検すべき橋梁のH28までの実施率は、四国全体で緊急輸送路道路を跨ぐ跨道橋約57%、跨線橋約80%、緊急輸送道を構成する橋梁約69%であり、いずれも橋梁全体の点検より進んでいる状況。
- 徳島県では、いずれも60%以上の点検実施率となっており、橋梁全体の点検より進んでいる状況。

〈最優先で点検すべき5年間の点検計画・累積点検実施率（全道路管理者合計）〉



〈平成28年度 点検実施数〉

道路施設	管理施設数	H28点検数	H28点検実施率
緊急輸送路を跨ぐ跨道橋	441	94	21%
跨線橋	349	106	30%
緊急輸送路を構成する橋梁	7,603	2,086	27%



〈平成28年度 点検実施数〉

道路施設	管理施設数	H28点検数	H28点検実施率
緊急輸送路を跨ぐ跨道橋	120	18	15%
跨線橋	72	17	24%
緊急輸送路を構成する橋梁	1,660	327	20%

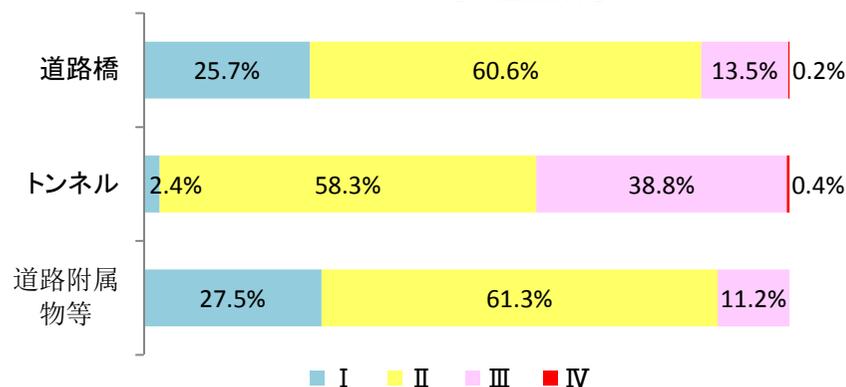
※平成29年6月末時点
 ※各年の数字と累計は四捨五入の関係で合わない場合がある

1) H28までの点検結果（3箇年の判定区分）

- 四国全体では、各施設とも予防保全段階のⅡ判定が最も多く、全体の約6割となっている。
- 徳島県のトンネルでは、早期措置段階のⅢ判定が全体の約7割となっている。それ以外の施設は四国全体と同様の傾向。

区分	状態
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

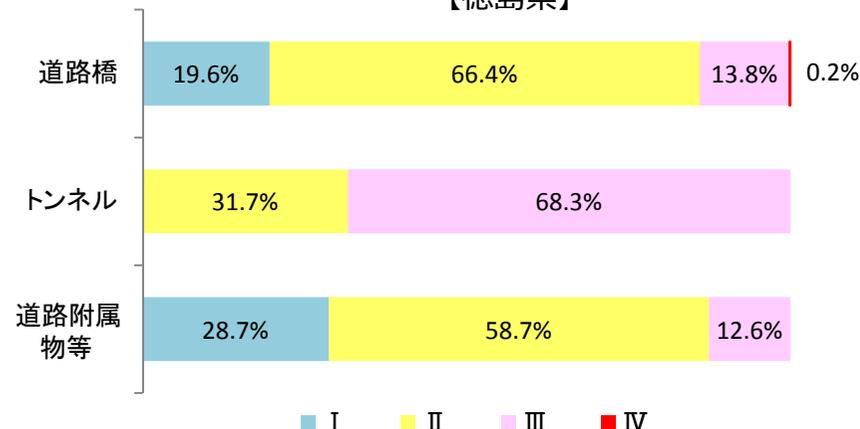
【四国全体】



平成26・27・28年度 点検結果(施設別、全道路管理者)

点検施設	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
道路橋	47,566	(57.1%)	(25.7%)	(60.6%)	(13.5%)	(0.2%)
		27,166	6,989	16,466	3,663	48
トンネル	1,004	(49.0%)	(2.4%)	(58.3%)	(38.8%)	(0.4%)
		492	12	287	191	2
道路附属物等	1,853	(56.1%)	(27.5%)	(61.3%)	(11.2%)	(0.0%)
		1,040	286	638	116	0
計	50,423	(56.9%)	(25.4%)	(60.6%)	(13.8%)	(0.2%)
		28,698	7,287	17,391	3,970	50

【徳島県】



平成26・27・28年度 点検結果(施設別、全道路管理者)

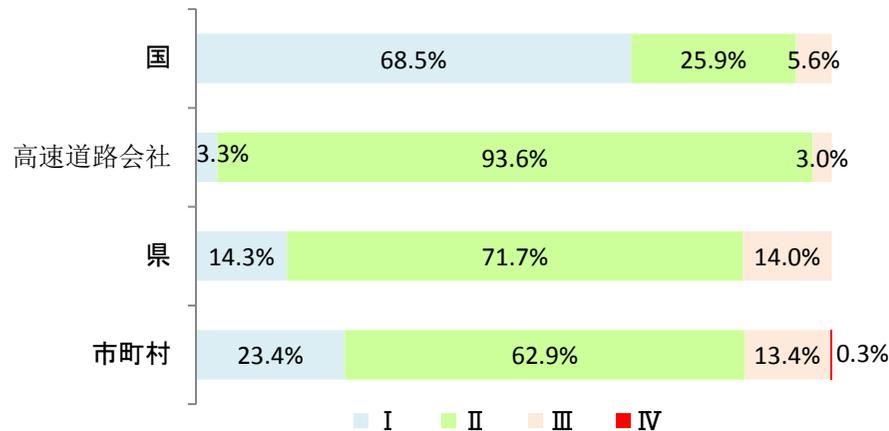
点検施設	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
道路橋	12,655	(53.4%)	(19.6%)	(66.4%)	(13.8%)	(0.2%)
		6,758	1,325	4,487	934	12
トンネル	178	(33.7%)	(0.0%)	(31.7%)	(68.3%)	(0.0%)
		60	0	19	41	0
道路附属物等	428	(59.3%)	(28.7%)	(58.7%)	(12.6%)	(0.0%)
		254	73	149	32	0
計	13,261	(53.3%)	(19.8%)	(65.8%)	(14.2%)	(0.2%)
		7,072	1,398	4,655	1,007	12

※点検実施数の上段（ ）は管理施設数に対する割合 ※判定区分内訳の上段（ ）は点検実施数に対する割合
 ※平成29年6月末時点 ※各年の数字と累計は四捨五入の関係で合わない場合がある

1) H28までの点検結果（道路管理者別H28判定区分） 四国地方整備局

- 四国全体では、判定区分Ⅲの橋梁は、国、高速道路が5%前後、自治体は14%前後となっている。
- 徳島県における判定区分Ⅲの橋梁は、高速道路が0%、国、自治体は12%～15%となっている。
また、市町村で判定区分Ⅳが5橋ある。

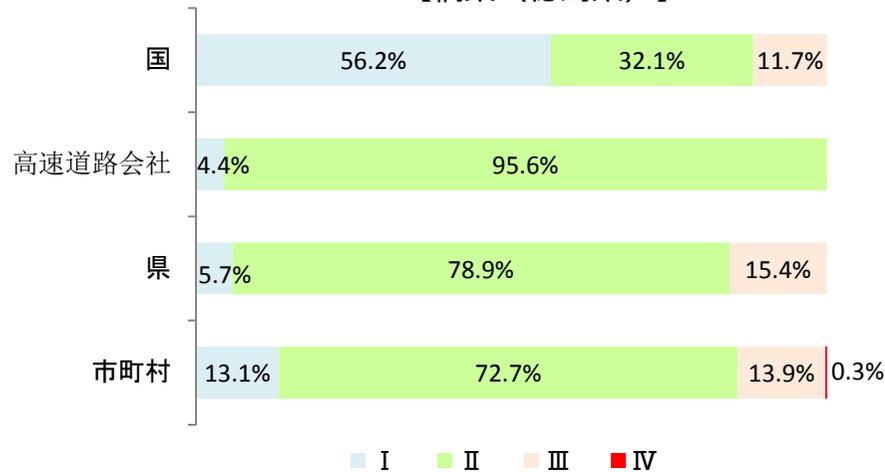
【橋梁（四国全体）】



平成28年度 点検結果（道路橋、道路管理者別）

道路管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国	2,674	(28.6%) 764	(68.5%) 523	(25.9%) 198	(5.6%) 43	(0.0%) 0
高速道路会社	1,208	(27.3%) 330	(3.3%) 11	(93.6%) 309	(3.0%) 10	(0.0%) 0
県	9,312	(20.8%) 1,938	(14.3%) 277	(71.7%) 1,390	(14.0%) 271	(0.0%) 0
市町村	34,372	(27.1%) 9,304	(23.4%) 2,177	(62.9%) 5,855	(13.4%) 1,244	(0.3%) 28
計	47,566	(25.9%) 12,336	(24.2%) 2,988	(62.8%) 7,752	(12.7%) 1,568	(0.2%) 28

【橋梁（徳島県）】



平成28年度 点検結果（道路橋、道路管理者別）

道路管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	II	III	IV
国	442	(31.0%) 137	(56.2%) 77	(32.1%) 44	(11.7%) 16	(0.0%) 0
高速道路会社	245	(27.8%) 68	(4.4%) 3	(95.6%) 65	(0.0%) 0	(0.0%) 0
県	2,479	(7.1%) 175	(5.7%) 10	(78.9%) 138	(15.4%) 27	(0.0%) 0
市町村	9,489	(20.1%) 1,908	(13.1%) 250	(72.7%) 1,388	(13.9%) 265	(0.3%) 5
計	12,655	(18.1%) 2,288	(14.9%) 340	(71.5%) 1,635	(13.5%) 308	(0.2%) 5

※高速道路会社の点検実施数には、下津井瀬戸大橋、溝橋を含む
 ※点検実施数の上段（ ）は管理施設数に対する割合 ※判定区分内訳の上段（ ）は点検実施数に対する割合
 ※平成29年6月末時点 ※各年の数字と累計は四捨五入の関係で合わない場合がある

1) H28までの点検結果（市町村別H28判定区分）

□平成28年度の市町村別点検結果（徳島県）

◆道路橋の点検結果(市町村管理分)

管理者	管理 施設数	H28 点検数	判定区分			
			I	II	III	IV
徳島市	1,344	131	6	80	45	0
鳴門市	728	184	13	155	16	0
小松島市	301	2	0	1	1	0
阿南市	1,057	369	81	265	22	1
吉野川市	670	0	0	0	0	0
阿波市	638	132	4	127	1	0
美馬市	579	200	3	180	17	0
三好市	589	30	1	17	12	0
勝浦町	243	71	1	60	10	0
上勝町	208	101	44	45	10	2
佐那河内村	141	67	2	44	21	0
石井町	353	141	3	114	24	0
神山町	265	33	0	18	15	0
那賀町	230	48	5	32	11	0
牟岐町	100	0	0	0	0	0
美波町	209	46	0	41	5	0
海陽町	302	24	0	12	11	1
松茂町	242	61	16	36	9	0
北島町	193	0	0	0	0	0
藍住町	162	56	20	34	2	0
板野町	235	60	0	57	3	0
上板町	234	47	2	38	7	0
つるぎ町	215	13	0	4	8	1
東みよし町	251	92	49	28	15	0
市町村計	9,489	1,908	250	1,388	265	5

- ・平成28年度における判定区分Ⅳの施設は四国管内で28橋梁。徳島県では5橋梁。
- ・トンネル、道路附属物等は該当なし。
- ・現在、全施設で緊急措置済みであり、今後、各道路管理者において恒久対策の検討を行い措置方針を決定。

<判定区分Ⅳのリスト(徳島県)>

○橋梁

管理者	施設名	路線名	建設年	損傷の具体的内容	緊急措置内容
徳島県 阿南市	前島橋	市道伊島前島線	1984	鉄筋の露出	全面通行止め
徳島県 上勝町	中須橋	町道神明葛又線	不明	木製床版の損傷	全面通行止め
徳島県 上勝町	下梅木橋	町道下梅木線	不明	木製床版の損傷	全面通行止め
徳島県 海陽町	申川橋	川又大比線	1955	鋼材の腐食	重量制限(2t)
徳島県 つるぎ町	堂平黒松線1号橋	町道堂平黒松線	1967	鉄筋の露出	重量制限(2t)

※判定区分Ⅳ：緊急措置段階(構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態)

徳島県 阿南市 前島橋(市道伊島前島線)

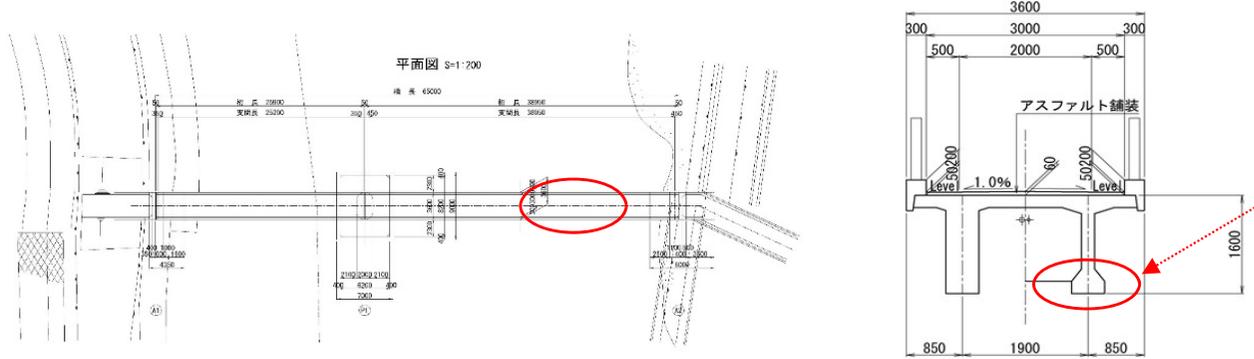
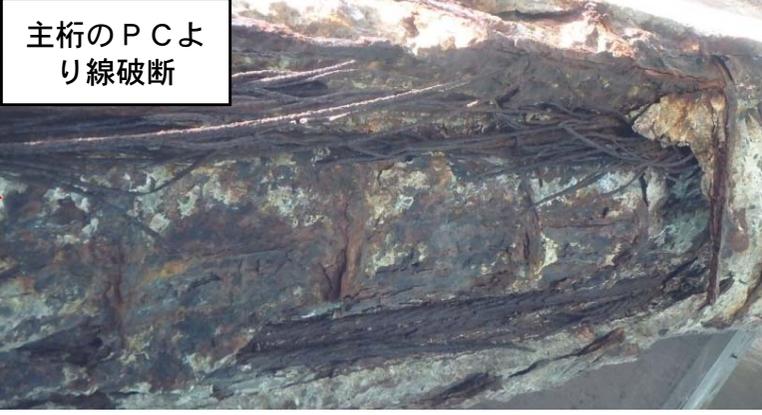
【概要】 橋長65.0m 建設年:1984年(33歳) 橋種:PCポステンT桁橋
日交通量:10台未満、大型車混入率0%(昼間12h)

【所見】

- 主桁のPCより線の一部破断や、広範囲にうき・鉄筋露出が確認される。
- 横桁定着部に、コンクリートの剥離や腐食がみられる。
- 通行止め・緊急対応が必要である。

【対策】

- 措置:全面通行止め措置済(H28.10.28)
- 恒久対策:平成29年度に詳細調査・設計を行い、対策方針を決定予定



前島橋全景

徳島県 上勝町 中須橋(町道神明葛又線)

【概要】 橋長12.0m 建設年:不明 橋種:木橋
日交通量:0台

【所見】
○木床版の欠損
○起点側橋台の崩壊。
○通行止め・緊急対応が必要である。

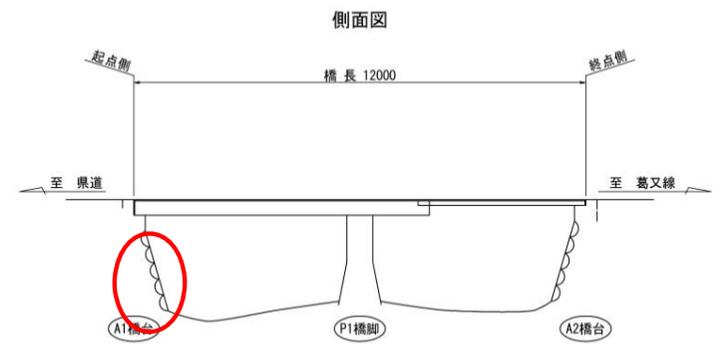
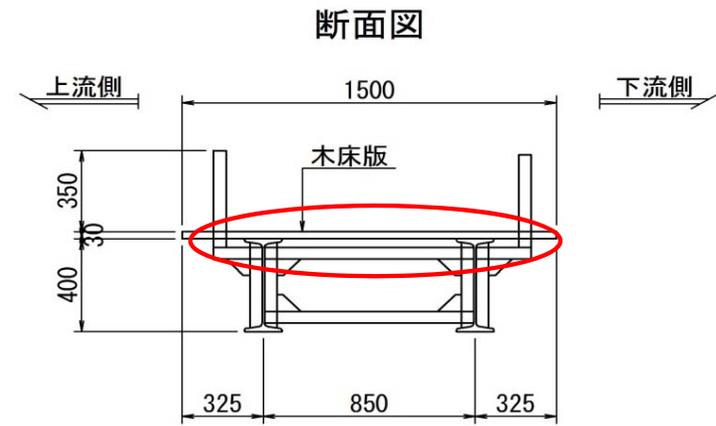
【対策】
○措置:全面通行止め措置済(H28.10.17)
○恒久対策:未定(検討中)



木床版の欠損



橋台の崩壊



徳島県 上勝町 下梅ノ木橋(町道下梅ノ木線)

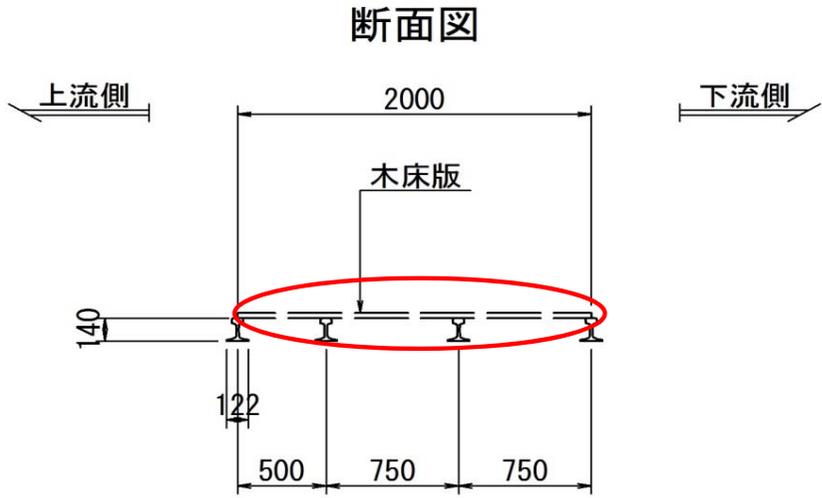
【概要】 橋長8.0m 建設年:不明 橋種:木橋
日交通量:0台

【所見】
○木床版の欠損
○通行止め・緊急対応が必要である。

【対策】
○措置:全面通行止め措置済(H28.7.6)
○恒久対策:未定(検討中)



木床版の欠損

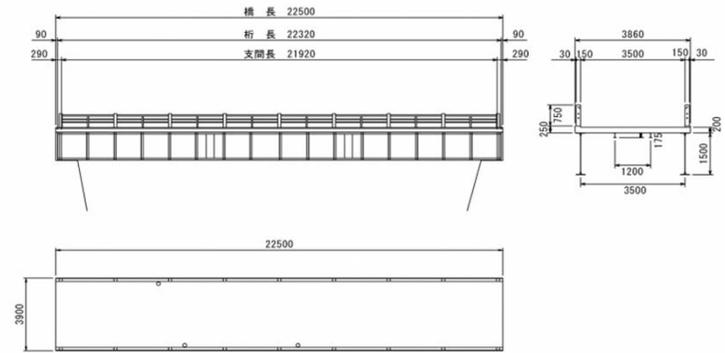


徳島県 海陽町 申川橋(町道川又大比線)

【概要】 橋長22.5m 建設年:1955年(62歳) 橋種:鋼製I桁橋
日交通量:50台未満

【所見】
○各部材に腐食が認められる。
○特に横構が腐食し、部材断面が消失している。
○通行止め・緊急対応が必要である。

【対策】
○措置:2t車以上通行止め措置済(H28.11.7)
○恒久対策:検討中(対策検討業務発注済H29.6)



申川橋全景

横構の腐食



主桁の腐食



徳島県 つるぎ町 堂平黒松線1号橋(町道堂平黒松線)

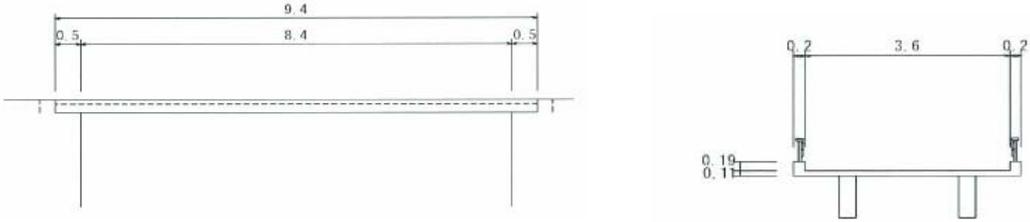
【概要】 橋長9.4m 建設年:1967年(50歳) 橋種:コンクリート桁橋
日交通量:20台未満

【所見】
○主桁、横桁、床版に鉄筋露出が見られる。
○支承部が腐食し、橋の機能に支障が生じている。
○生活道で迂回路が無い間、規制が必要である。

【対策】
○措置:2t車以上通行止(H28.10.1)
○対策:H29.8より修繕工事予定



堂平黒松線1号橋全景



主桁の鉄筋露出



支承の腐食